（参考様式）

令和３年度　（　生田高等　）学校 年間指導計画

教科・科目	地理歴史 世界史A		学年	第2学年	教科書	実教出版 世界史A新訂版
			単位数	2単位	副教材	帝国書院 最新世界史図説 タペストリー

学習目標	日本及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深めるため、世界史の大きな枠組みと流れを理解し、世界の歴史の基本的な知識を身につけるとともに、国際社会の中で生きる平和で民主的な国家・社会を形成する日本人として、歴史的事実や背景を考察に入れ、公正に判断できる力を養うことを目的とする。
学習方法	・授業は講義を中心としつつ、プロジェクタやタブレットPCなどのICT機器を効果的に活用しながら個別学習やグループ別学習で文献資料、図表の読解にも取り組み、思考力を養う。 ・政治・経済の知識や地理、日本史との関連を意識しながら、多面的・多角的に考察する。

学習評価

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	関心・意欲・態度	世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究するとともに，国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。
b	思考・判断・表現	歴史から課題を見いだし，文化の多様性と現代世界の特質を世界史的視野に立って多面的，多角的に考察するとともに，国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。またその過程や結果を適切に表現する。
c	資料活用の技能	世界の歴史についての諸資料を収集し，有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付ける。
d	知識・理解	世界の歴史についての基本的な事柄を，日本の歴史と関連付けながら理解し，その知識を身に付けている。

学期	内容のまとまり	単元（題材）	時数	学習内容	評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期12週	第Ⅲ部 近代のヨーロッパ・アメリカと世界の変動	第5章　19世紀の世界の一体化と日本	12	・産業革命と工業化社会の成立 ・アメリカ独立戦争 ・フランス革命とナポレオン戦争	○	○	○	◎	a: 授業に積極的に参加している。 b: 歴史の動きについて、その原因や理由について考えようとしている。 c: 調べたいことに応じた必要な資料を見つけることが出来る。資料と資料の関係を見分けられる。 d: 歴史上の知識を論理的に組み立て時代像を描けている。	授業観察 小テスト 定期試験
			6	・ウィーン体制とその崩壊 ・ヨーロッパ国民国家の発展 ・アジア・アフリカ・ラテン ・アメリカの変動						
			6							
2学期14週	第Ⅳ部　地球社会と日本	第6章　二つの世界大戦	6	・東アジアの変容と日本の近代化 ・激変する社会と帝国主義 ・第一次世界大戦とロシア革命 ・戦間期のヨーロッパとアメリカ ・民族運動の高まり ・第二次世界大戦	○	○	○	◎	a: 授業に積極的に参加している。 b: 歴史の動きについて、その原因や理由について考えようとしている。 c: 調べたいことに応じた必要な資料を見つけることが出来る。資料と資料の関係を見分けられる。 d: 歴史上の知識を論理的に組み立て時代像を描けている。	授業観察 小テスト 定期試験
			4							
		第7章　第二次世界大戦後の世界と日本	4	・冷たい戦争 ・アジア・アフリカ諸国の独立と混乱 ・多極化の進展と冷戦体制の崩壊						
			6							
		第8章　現代の世界	8	・ロシア・東欧諸国の動向 ・アメリカの戦争と世界同時不況 ・西アジアの混迷 ・南アジア・東南アジアの動き						
3学期9週		終章　持続可能な世界をめざして	18	・巨大技術と人間 ・人が人らしく生きるために ・なお続く紛争	○	○	○	◎	a: 授業に積極的に参加している。 b: 歴史の動きについて、その原因や理由について考えようとしている。 c: 調べたいことに応じた必要な資料を見つけることが出来る。資料と資料の関係を見分けられる。 d: 歴史上の知識を論理的に組み立て時代像を描けている。	授業観察 小テスト 定期試験

合計時数（50分授業）	70